

伊豆の海、 安全・安心の海を目指して

下田海上保安部 巡視艇いずなみ機関長



— 現在の仕事の内容はどのようなことですか？ —

私が乗船している巡視艇「いずなみ」は、伊豆半島及び伊豆諸島周辺の海域を守る下田海上保安部に所属し、周辺海域で発生した海難事故の救助に出動したり、密漁や密輸等の海上で起こる犯罪の予防、また犯罪が行われた際は、犯人を捕まえ捜査、鎮圧する海の警察官としての役割を担い、昼夜を問わず出動しています。伊豆半島及び伊豆諸島周辺海域は、全世界から多くの船舶が行き来する東京湾の玄関口にあたり、この海域の安全を守ることが、国民の皆さんの平和で安定した生活を守る最重要任務となっています。

また、私は巡視艇の機関長として、「いずなみ」のエンジン全般を保守点検、管理し、24時間365日いつでも出動できるよう、機関科職員とともに日々汗を流し、巡視艇の安全運行と即応体制の維持に努めています。

— 海上保安庁に入った動機やきっかけは何でしたか？ —

一番は、「海が好き！」だということです。海に関わる仕事がしたい、みんなの役に立つ仕事がしたいと考えていた私にとって、海上保安庁の職務内容は、とても魅力的でした。入庁して10年経ちますが、日々新しい発見とやりがい、に満ち溢れた職場です。

— 海上保安庁に入って、印象に残っていることは何ですか？ —

入庁して今まで、現場第一線で仕事をして感じるがあります。海上保安庁という組織は、どんなに困難な海難救助や事件捜査でも、海上保安官1人1人の崇高な使命感と結束力で事案を解決してゆく職場であるということです。各海上保安官が個性と能力を発揮し、それを総合力として国民の皆さんの期待にこたえる組織、それが海上保安庁であると私は思います。

— これから海上保安庁を希望する人達に一言 —

海上保安庁には、海上の安全や治安を維持するため様々な職種があり、勤務体制も巡視船艇、航空機、陸上部署と多岐にわたるため、自分の希望に叶った仕事必ずあるはず。是非、海上保安庁を希望して、私たちとともに、海の安全・安心を守りましょう。